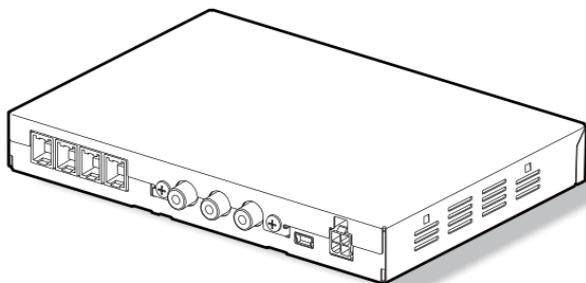


車載用地上デジタルチューナー WGA8800

取扱説明書／保証書



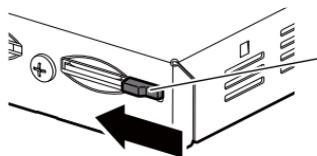
この度は車載用地上デジタルチューナーをお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。本書には取付けおよび操作手順が説明されております。正しくご使用いただくために本書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお読み終えた後、いつでも見られるよう大切に保管してください。

本書の見かた

⇒ PXX	参照先を記載しています。(XX はページ)
👉 アドバイス	本製品に関する補足情報を説明しています。
【▲アップ】	各リモコンボタンの名称を表しています。
本書内で「走行中」とはパーキングブレーキがかかっていない状態の事を示しています。	

⚠️ miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カードを挿入した後、**必ずロックしてください。**
miniB-CAS カードをロックしないと miniB-CAS カードを認識せず、エラーが表示され、地デジを視聴することができません。



矢印の方向へ「カチッ」と音がするまでスライドさせ、miniB-CAS カードをロックする

目次

目次	2	設定	36
ご使用上の注意	3	設定操作	36
各部の名称	7	チャンネル設定	37
梱包内容	7	受信設定	38
メインユニット	8	システム設定	40
リモコン	8	受信機情報	43
取付方法	9	設定初期化	43
miniB-CAS カードを挿入する	9	付録	44
フィルムアンテナの取付け	11	緊急警報放送 (EWS) について	44
リモコン受光部の取付け	17	故障かな?と思ったら	45
電源コードの取付け	18	製品仕様	46
メインユニットの設置方法	20	保証規定	47
操作方法	23	WGA8800 保証書	裏面
リモコンを操作する	23		
リモコン電池を交換する	24		
リモコン操作一覧	25		
電源を入れる	26		
電源を切る	26		
チャンネルを設定する	27		
放送局サーチ	29		
地上デジタル放送と ワンセグ放送を切替える	30		
チャンネルを選択する	31		
チャンネルサーチ	33		
チャンネル情報を表示する	34		
番組表を見る	34		
番組情報を見る	35		
音声多重放送の選択方法	35		

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、注意事項には危害や損害の大きさを明確にする為に誤った取扱いにより生じると想定される内容を「警告」・「注意」の2つに分けています。

⚠ 警告 警告を無視した取扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う原因となります。

⚠ 注意 注意を無視した取扱いをすると、使用者が障害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を前方の視界を妨げる場所やハンドル、シフトレバー、ブレーキペダル等の運転に支障をきたす可能性のある場所、または同乗者に危険を及ぼす場所には取付けをしないでください。
- 本製品取付け作業時はバッテリーのマイナス端子を外してください。
- エアバッグが装着されている車両に取付ける場合は、エアバッグ作動の妨げになる場所（エアバッグのカバー部分等）には取付け、配線を絶対にしないでください。
- 配線類は運転の妨げとならないように取回してください。
- 本製品の電源線から他の機器の電源を取ることは絶対にしないでください。
- 本製品取付け完了後、全ての車両電装品（ブレーキランプ、ライト、ホーンなど）が正しく作動するのをお確かめください。
- 本製品は DC12V 車専用です。（DC24V 車へのお取付けはできません。）
- 本製品を分解したり改造しないでください。
- 配線は金属部や高温部を避けて行なってください。
- 画面が映らない、音声が出ないなど本体の故障が考えられる場合はすぐに使用を中止してください。
- 本製品に異物が入ったり、煙がでる、変なにおいがするなど異常が起きましたら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げ販売店にご相談ください。
- 危険ですので運転しながら本製品の使用、操作はしないでください。
- 運転者が本製品で視聴、操作をする場合は必ず安全な場所に車を停車させてから行なってください。

ご使用上の注意

⚠ 注意

- 本製品は必ず取扱説明書にしたがって正しく取付け、使用してください。
- 本製品の取付けには専門知識、技術、経験が必要です。必ずお買い上げの販売店またはカーディーラーに取付けを依頼してください。お客様ご自身で取付けられた場合は保証は受けられません。
- 付属の部品は取扱説明書通りに使用してください。その他の目的で使用しないでください。
- 本製品を下記のような場所に取付けないでください。
 - ・雨や水のかかる場所。
 - ・湿気やホコリの多い場所。
 - ・振動の多い場所やしっかり固定できない場所。
 - ・ヒーターのダクト付近の温風が当たる場所や直射日光が当たる場所、カーペットの下の熱がこもりやすい場所等、高温になりやすい場所。
- 本製品に水や飲み物等がかからないようにしてください。
- 本製品を取付ける際は、通風孔をふさがないように取付けを行なってください。また、逆さや縦向きに設置しないでください。
- 配線が車両のシートレール等の可動部にはさみ込まれる事がないように注意して配線の取回しを行なってください。
- 一部車両によっては出力音声にノイズが発生する場合があります。そのような場合、電源の接続場所の変更や配線の取回し、または市販のノイズフィルター等を使用することで改善する場合があります。
- 接続機器により、映像や文字が正常に表示されない場合があります。
- お使いのナビやモニターへの接続方法・手順に関しては、各製品の取扱説明書をご確認ください。
- 本製品を使用する際は車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。
- 本製品は車載専用です。車載以外では使用しないでください。
- 本製品は日本国内でのみ使用できます。海外では使用できません。
- 取付け方法、取付け車両により工具が必要になる場合があります。
- 本製品の仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。ご了承ください。

地上デジタル放送とは・・・

- ・地上デジタル放送は、地上の電波塔から送信する、デジタル化された地上波テレビ放送です。従来の地上アナログ放送よりも高画質な映像や多チャンネルの番組を楽しむことができます。
 - ・地上デジタル放送の携帯・移動体向けサービスに「ワンセグ」があります。「ワンセグ」とは地上デジタル放送の電波の約6MHzの帯域を13個のセグメントに分割し、その1つのセグメントを利用して放送されることから、ワンセグと呼ばれるようになりました。
 - ・本製品は電波の受信状態により、地上デジタル放送とワンセグ放送を自動で切替える機能を採用しています。また、地上デジタル放送またはワンセグ放送に固定し、受信することもできます。
- ※本製品はデータ放送・字幕の受信には対応しておりません。
※本製品はハイビジョン放送の再生には対応しておりません。ハイビジョン放送は、標準画質（SDTV）で再生します。
※本製品は5.1chサラウンドには対応しておりません。

地上デジタル放送等の詳細については、下記ホームページなどでご確認ください。

社団法人地上デジタル放送推進協会

<http://www.dpa.or.jp/>

地上デジタル放送の受信について

地上デジタル放送では下記のような場合等受信状態が悪くなると、映像にブレやブロックノイズが出たり、音がとぎれたり、静止画面、黒画面となり音声が出なくなることがあります。

- ・トンネル、地下、ビルの陰、電車の架線、高圧線、ラジオ・テレビ放送の送信所、無線送信所、ネオンサインなどの近くでの本製品を使用した場合。
- ・本製品の受信周波数帯域に妨害を与える電子機器や無線利用機器など（パソコンや携帯電話など）の車内での使用、またはそれらの機器を本製品のメインユニットやフィルムアンテナ、アンテナコードに近づけた場合。
- ・受信状態が弱いときに、パワーウィンドウ、ワイパー、電動ミラー、エアコンファンなどの車両電装品を作動させた場合。

上記のような場合、場所を移動するか、電子機器や無線利用機器を本製品から離して使用してください。また、高速走行中や停車中でも周囲の環境等によって受信状態は変化します。

※障害物などの影響により放送エリアでも受信できない場合があります。

ご使用上の注意

使用上のお願い

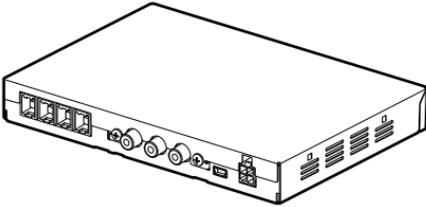
- ・コピーガードがかかっている番組は、録画機器を経由して視聴すると映像が正常に表示されない場合があります。コピーガードがかかっている番組を視聴する場合は録画機器を経由しないで、直接本製品とテレビを接続してください。
- ・お客様がビデオデッキ等で録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権上権利者に無断で使用することはできません。
- ・本製品は、著作権保護技術を採用しており、マクロヴィジョン社およびその他の著作権者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロヴィジョン社の許可が必要であり、また、マクロヴィジョン社が特別に許諾する場合を除き、家庭およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。改造したり、分解することも禁じられています。
- ・本製品は ARIB（電波産業会）規格に基づいた商品仕様になっています。将来規格変更があった場合は、商品仕様を変更する場合があります。
- ・本製品は日本国内のみ使用できます。また、本製品および miniB-CAS カードを国外に輸出または持ち出すことはできません。
- ・各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

miniB-CAS カードについて

- ・miniB-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することができません。（ワンセグ放送は受信できます）
- ・ダッシュボード上など、高温になる場所にカードを放置しないでください。カードの曲がり等で使用できなくなる恐れがあります。
- ・カードの台紙に記載の使用許諾契約約款をよくお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本製品に挿入してください。
- ・本製品に同梱の miniB-CAS カードは地上デジタル放送専用です。BS/110度CS デジタル放送対応受信機には使用できません。
- ・盗難防止のため、車両から離れる際は miniB-CAS カードを本製品から抜き、車内に残さないように保管することをおすすめします。

梱包内容

WGA8800 メインユニット (1 個)



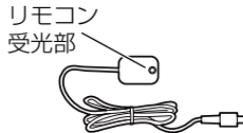
リモコン (1 個)



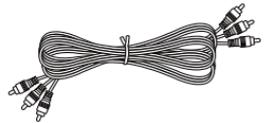
電源コード (1 個)
(約 3m/2A ヒューズ内蔵)



リモコン受光部 (1 個)
(約 3m)



AV ケーブル (1 個)
(約 2.5m)



miniB-CAS カード
(1 枚)



リモコン用電池 (1 個)
(CR2025)



両面テープ (1 枚)
(リモコン受光部固定用)



エレクトロタップ (2 個)

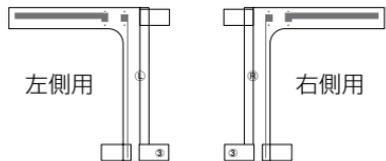


フィルムアンテナセット (2 セット)

アンテナコード
(左右各 1 本 / 約 5m)



フィルムアンテナ
(左右各 1 枚)



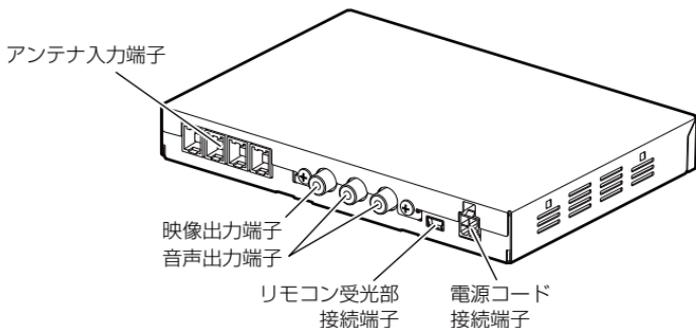
脱脂クリーナー (1 枚)



※ 取扱説明書のイラストと実際の製品では一部形状が異なる場合があります。

梱包内容

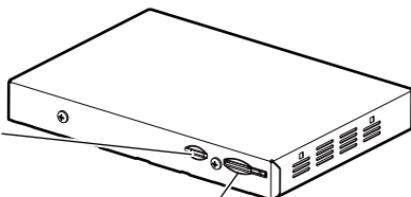
メインユニット



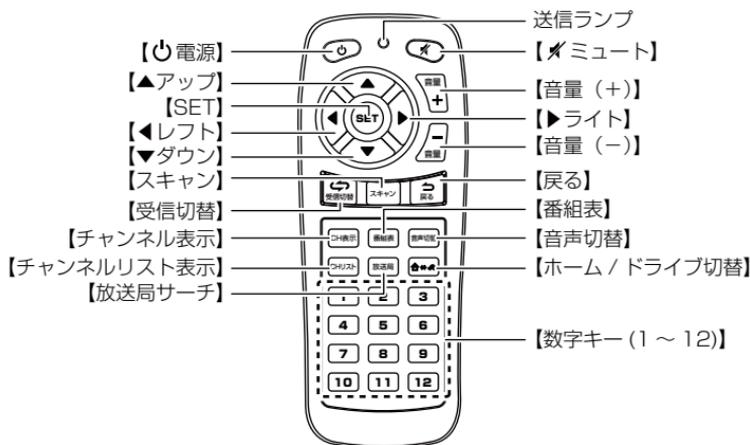
バージョンアップ用 microSD カード挿入口

⚠ 注意

- ・本製品のバージョンアップ時に使用します。それ以外では使用しません。
- ・バージョンアップ以外で microSD カードを挿入した状態では本製品は起動しません。



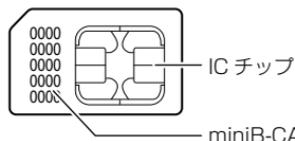
リモコン



miniB-CAS カードを挿入する

miniB-CAS カードについて

miniB-CAS カード



※miniB-CAS カード番号は miniB-CAS カードを管理するための番号です。
お問い合わせの際にも必要になるため、必ずメモして下さい。

⚠ 注意

- miniB-CAS カード台紙に記載の文面を必ずよくお読みのうえ挿入してください。
- 使用許諾契約約款をよくお読みください。miniB-CAS カードのパッケージを開封すると、使用許諾契約約款に同意したものとみなされます。
- miniB-CAS カードを挿入しないと、地上デジタル放送を受信することはできません。

miniB-CAS カード取扱上の注意点

- 折り曲げたり、変形させたり、傷つけたりしない。
- 重いものを置いたり踏みつけたりしない。
- 水をかけたり、ぬれた手で触らない。
- ICチップ部には手を触れない。
- 分解・加工は行わない。
- 本機に付属のminiB-CASカードは地上デジタル放送専用です。
- BS/110度CSデジタル放送対応受信機には使用できません。

miniB-CAS カードを破損したり、紛失・盗難された場合は、下記カスタマーセンターへ直接お問い合わせください。

(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンター
TEL:0570-000-250 (詳しくは miniB-CAS カード台紙を参照ください)

取付方法

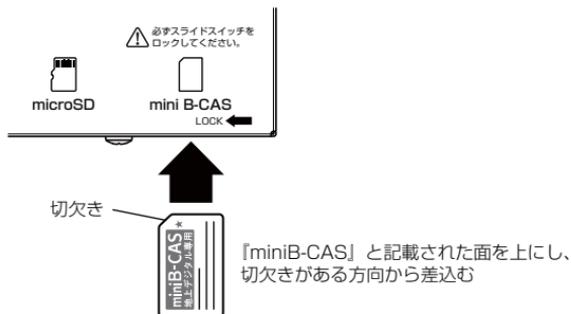
miniB-CAS カードの入れ方

1) miniB-CAS カードを台紙から取外します。

※ miniB-CAS カードのパッケージを開封すると、台紙に記載の使用許諾契約約款に同意したものとみなされるため、開封前に必ずお読みください。

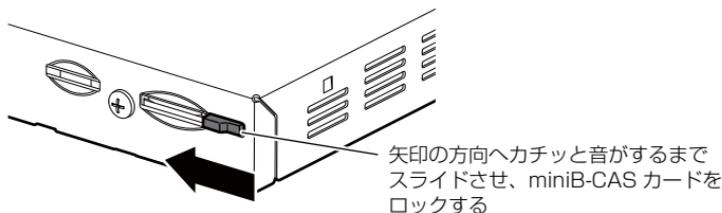
2) miniB-CAS カードを挿入します。

電源が切れた状態で『miniB-CAS』と記載された面を上にし、切欠きのある方向から『カチッ』と音がするまで奥に差込んでください。



3) スライドスイッチをロックします。

※スライドスイッチをロックしないと、miniB-CAS カードを認識せず、エラーが表示されます。必ずロックしてください。



⚠ 注意

- miniB-CAS カードを抜き差しする際は必ず電源を切った状態で行なってください。故障の原因となります。
- miniB-CAS カードのICチップ部が汚れていると正常に認識できない場合があります。汚れてしまった場合はやわらかい布等で拭き、きれいにしてから挿入してください。
- miniB-CAS カード挿入口にゴミやほこり等が入ると、miniB-CAS エラーとなり動作不良の原因となるため、ご注意ください。

フィルムアンテナの取付け

フィルムアンテナを取付ける前に必ずお読みください

△ 注意

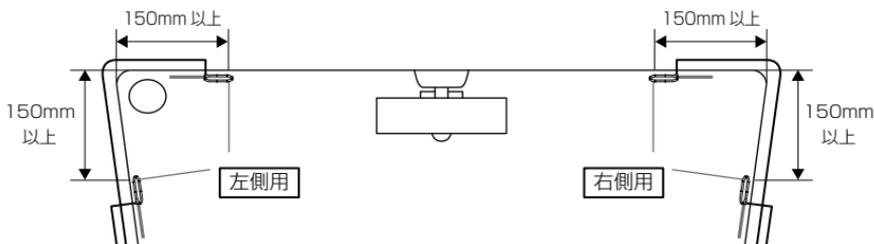
- 配線をするために、フロントピラーやルーフラインングを一時的に取外す必要があります。車種によっては取付けができない場合があります。販売店にご相談ください。
- 熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用している車種の場合には受信感度が極端に低下します。
- アンブ部等は保安基準に適合させるため、必ずフロントウィンドウの指定の位置に取付けを行なってください。指定した位置以外に取付けをすると車検不適合と判断され、不合格になる場合があります。(保安基準とは道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付けの運輸省(当時)告示第820号を言います)
- フィルムアンテナはフロントウィンドウ内側専用です。それ以外の場所に取付けをしないでください。受信感度が低下します。
- アンテナの保護シートを剥がしたあと、アンテナ貼付面には手をふれないでください。指紋やゴミが付着し粘着力が弱くなります。
- 必ずケーブルおよびフィルムアンテナの引き回し等を十分に検討してから取付けを行なってください。一度貼付けると、貼直しできません。
- 左ハンドル車に取付ける場合も本書にしたがって取付けを行なってください。
- 他のアンテナを取付けている場合、電波干渉を防ぐため他のアンテナから本製品のフィルムアンテナを15cm～30cm程度離して取付けてください。
- フィルムアンテナは、点検整備済ステッカー・検査標章などと重ならないように貼り付けてください。
- 車種によってはナビゲーションのAV入力端子がオプション(別売)の場合があります。確認の上、取付けを行なってください。
- フィルムアンテナは折曲げたり傷つけたりしないように、取扱いに注意してください。
- 貼付けは風が無く、空気中にゴミやホコリ等が無い場所で行なってください。
- フィルムアンテナは気温が低い時やガラス面が結露している時は、貼付がなくなります。車内ヒーターで暖めるか、エアコンをONにして十分に乾かしてから貼付けを行なってください。
- 車室内に貼付けるアンテナはエアコン用モーター等から出るノイズにより、テレビの映りが悪くなる場合がありますが、故障ではありません。

取付方法

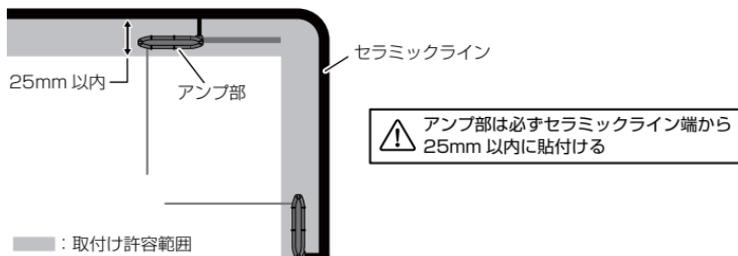
貼付け位置について

- ・点検整備済みステッカー・検査標章などと重ならないように貼付けてください。
- ・フロントウィンドウの端から 150mm 以上離して貼付けてください。
- ・フロントガラス上部でガラス面全長の 5 分の 1 の範囲内に貼付けてください。
- ・ピラーにフロントエアバッグを搭載している車両の場合、ルーフ側に 4 枚貼付けてください。その際アンテナ同士は 150mm 以上離して貼付けてください。
- ・保安基準に適合させるため、また性能を十分に発揮させるために、必ず下図の位置に貼付けてください。

●貼付け推奨位置



●アンブ貼付け許容範囲



👉 アドバイス

- ・セラミックラインが無い車両の場合、フロントガラスの端から 25mm 以内にアンブ部を貼付けてください。
- ・フィルムアンテナには右側用（ケーブル右出し用）、左側用（ケーブル左出し用）の指定があります。貼り間違いの無い様よくご確認ください。なおアンブ付きケーブルには指定は無く、左右共通です。
- ・アンテナは左右対称に貼付けてください。
- ・他のアンテナが近くにある時は、そのアンテナから 150mm ~ 300mm 程度離して貼付けてください。

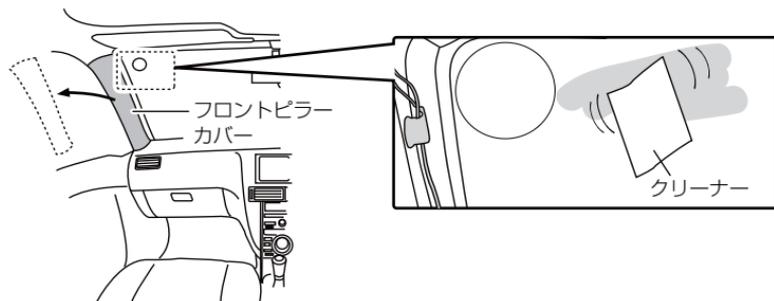
フィルムアンテナの貼付け

※ 左ルーフ側を例に説明しています。左ルーフ側貼付け後、同様に残りのフィルムアンテナの貼付けを行なってください。

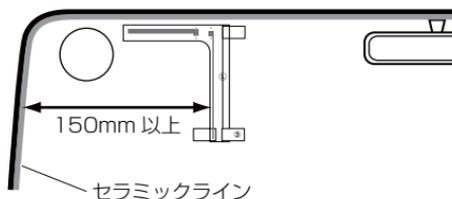
1) フロントピラーカバーを外し、フロントガラスを清掃します。

フロントウィンドウ横のフロントピラーカバーを外し、フィルムアンテナの貼付け面を付属のクリーナーで綺麗に拭いてください。

※あらかじめ付属の脱脂クリーナーで取付け部の油分・水分を十分に取ってから取付けを行なってください。



2) フロントガラスに貼る位置を確認します。



⚠ 注意

- ・フィルムアンテナを一度貼付けると貼直しができませんので、貼付け位置等を十分確認してください。
- ・フロントピラーを戻した際にアンテナコードのアンブ部が干渉しない位置に貼付けを行なってください。
- ・フロントガラスのフチにあるセラミックライン部には貼らないでください。
- ・フロントガラスに他のアンテナ（TV、GPS等）がある場合は15cm～30cmぐらい離して貼ってください。

👉 アドバイス

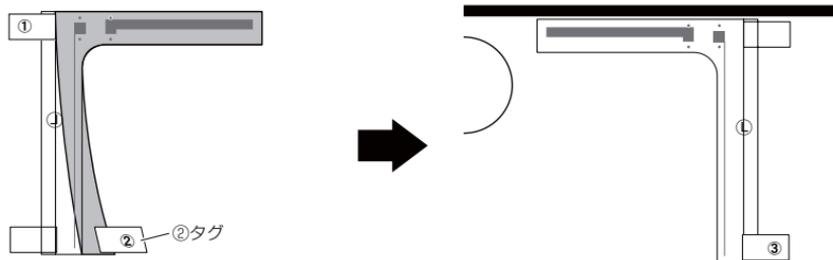
セラミックラインとは…

ウィンドウ端の黒い部分または黒い点々の箇所

取付方法

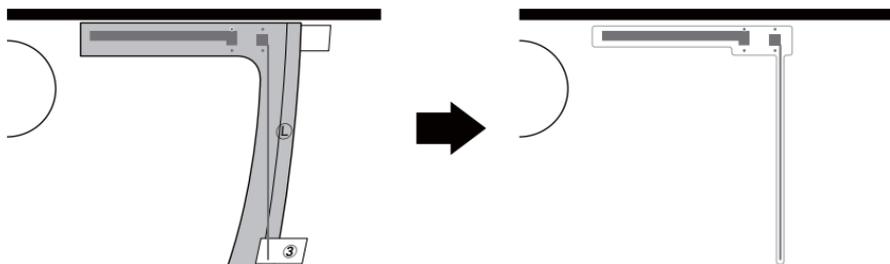
- 3) ①を押さえながら②のタグを持って、保護シート（透明）を剥がし、フィルムアンテナをフロントガラスに貼付けます。

保護シートを剥がす際、保護シートにエレメントが残らないようにゆっくり剥がしてください。貼付け後、フィルムアンテナを上から布などでこすってガラス面にしっかりと定着させてください。



※フィルムアンテナをこする際、ヘラなど固いものを使用しないでください。破損の原因となります。

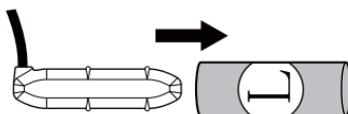
- 4) ③のタグを持って、保護シート（透明）をゆっくり剥がします。



⚠ 注意

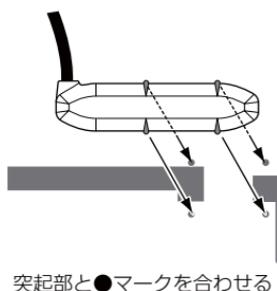
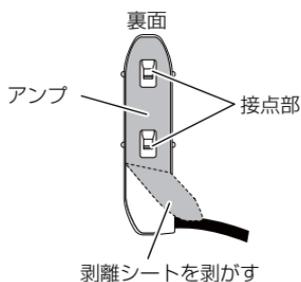
保護シートを剥がす際はゆっくり剥がしてください。勢いよく剥がすとエレメントが保護シートに残ったり、切れたりする場合があります。

5) アンテナコードのアンプケースを取外します。



6) アンテナコードのアンプとフィルムアンテナを貼付けます。

アンテナコードのアンプの剥離シートを剥がし、アンプの突起部とフィルムアンテナの●マークを合わせ貼付けてください。確実に固定するため、必ず 20 秒以上押付けてください。



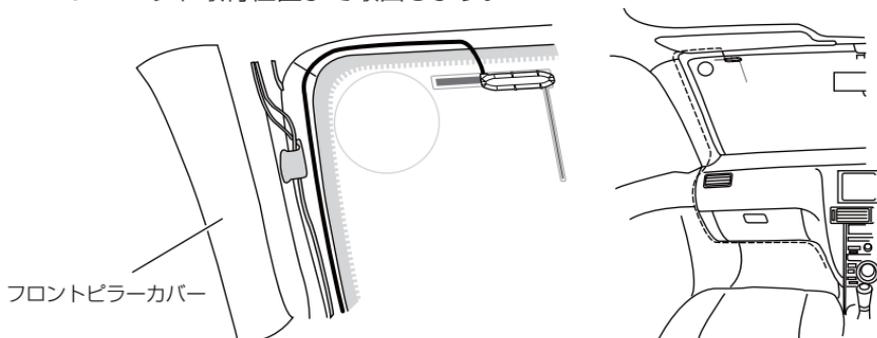
⚠ 注意

- アンプの接点部には触らないでください。
- アンプの貼付け後、押付けを行わないと剥がれの原因となります。アンプ貼付け後は必ず 20 秒以上押付けを行なってください。

取付方法

7) アンテナコードの取回しを行います。

アンテナコードがかみ込んだり、突っ張りが無いよう十分に余裕を持たせ、フロントピラーを元に戻します。その後アンテナコードをメインユニット取付位置まで取回します。



📢 アドバイス

配線を束ねて取付けを行うと映像にブロックノイズが出たり音声途切れたりすることがあります。

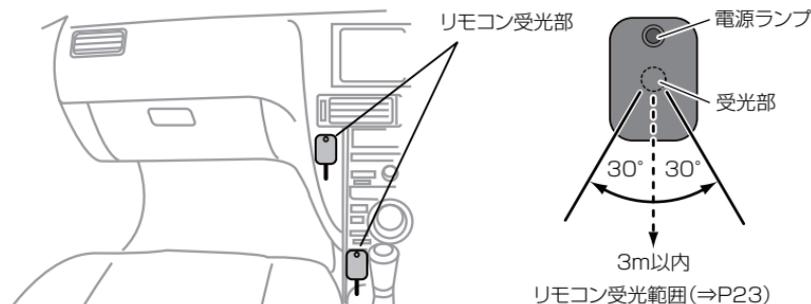
8) 同様に残りのフィルムアンテナ、アンテナコードの取付けを行なってください。

リモコン受光部の取付け

取付けする場所の汚れや油分を拭取り、リモコン受光部裏面に両面テープを貼付け、取付けます。

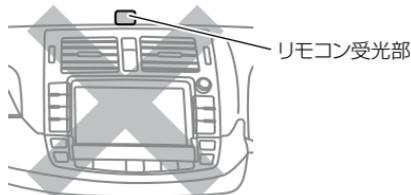
リモコンの信号を受けやすく、運転や視界の妨げにならない場所に取付けてください。

取付け例



⚠ 注意

リモコン受光部はダッシュボード上など、直射日光のあたる場所へは取付けないでください。リモコンの操作距離が短くなったり、誤動作の原因となります。その場合、リモコン受光部の取付け場所を変更してください。



取付方法

電源コードの取付け

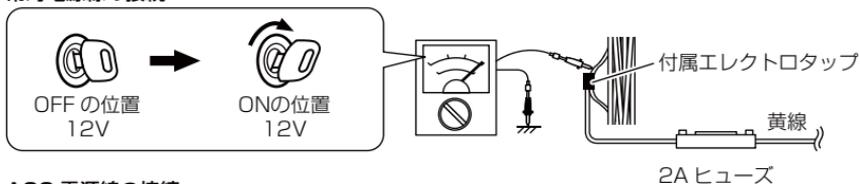
付属電源コードの各配線を車両の常時電源線・ACC 電源線・車両アースボルトに接続します。



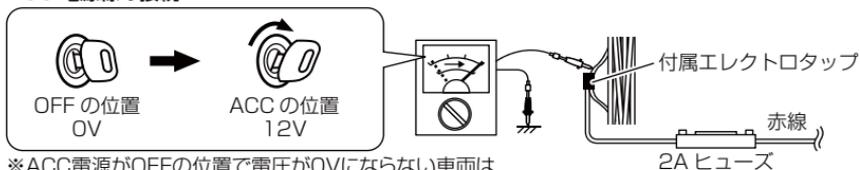
常時電源 / ACC 電源線の接続

付属電源コードの常時電源 / ACC 電源線を車両の配線に付属のエレクトロタップで接続します。

常時電源線の接続



ACC 電源線の接続



※ACC電源がOFFの位置で電圧が0Vにならない車両はイグニッション電源へ接続してください。

⚠ 注意

ACC 線はイグニッションキーが ACC の位置で電圧が 12V、OFF の位置で必ず 0V になる車両の配線に接続してください。

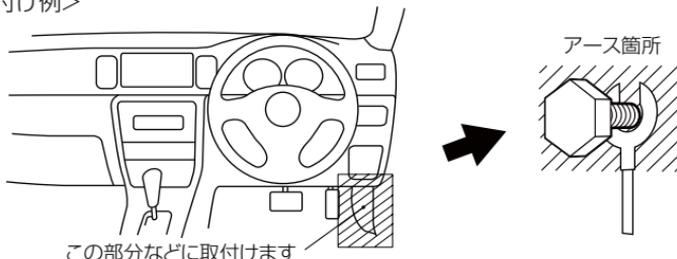
アース線の接続

電源コードの黒線のアース端子を車両アースボルトへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意

アース端子とフレームの間に樹脂・塗装等があると確実なアースが取れません。そういった場所へアース端子を取付けると動作が不安定になることがあります。

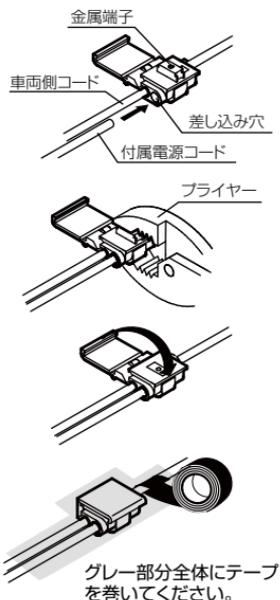
<取付け例>



👉 アドバイス

エレクトロタップを使った接続方法

- 1) 車両側コードをエレクトロタップ側面よりはめ込み、付属電源コードは差し込み穴からストッパーまで深く挿入します。
- 2) プライヤー等で金属端子を完全に押し込みます。
- 3) カバーを矢印の方向に倒し、ロックします。
- 4) 最後に市販の絶縁テープを巻いて接続部を保護します。



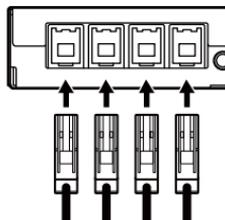
取付方法

メインユニットの設置方法

メインユニットへ各配線を接続する

- 1) メインユニットにアンテナコードを4ヶ所接続してください。

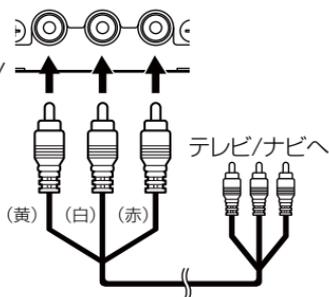
※ アンテナ入力端子のどこに差込んでも構いません。



- 2) 付属 AV ケーブルの RCA 端子をメインユニットの映像出力端子 / 音声出力端子に接続します。

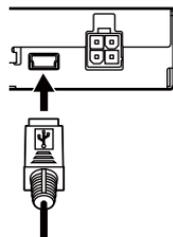
映像出力 音声出力
左 右
(黄) (白) (赤)

- 3) 付属 AV ケーブルの RCA 端子をテレビ / ナビのビデオ入力端子へ接続します。

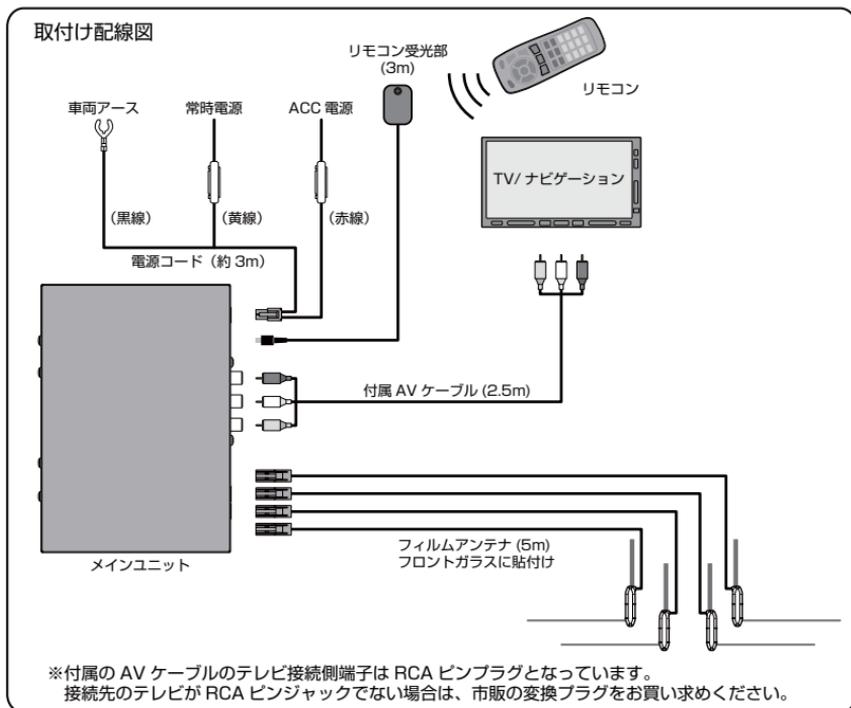
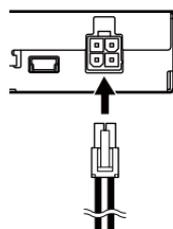


- 4) リモコン受光部の端子をメインユニットのリモコン受光部接続端子へ接続してください。

※ 端子の向きに注意して取付けをしてください。



- 5) メインユニットの電源コード接続端子に電源コードを接続してください。



取付方法

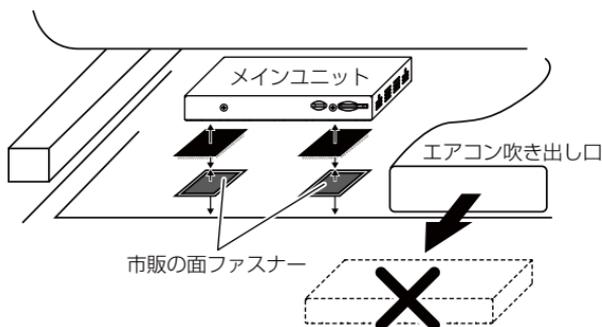
メインユニットの固定方法

アンテナコード、電源コード、リモコン受光部コードなどコード類を車の運転の妨げとならないようにまとめ、市販の面ファスナーなどでメインユニットを固定してください。

⚠ 注意

- ・結露等によりメインユニットの故障のおそれがありますので、エアコン吹き出し口やその付近に取付けない様に注意してください。
- ・取付ける場所（ファンモーターの近く等）によっては車両ノイズの影響を受ける場合があります。その場合はメインユニットの取付けする場所を変更してください。

・取付け例：シート下取付け

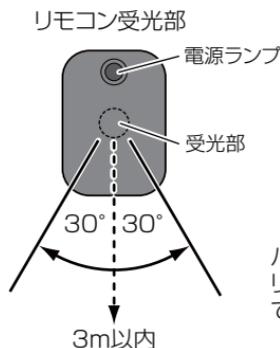


👉 アドバイス

余裕を持った配線の取回しやメインユニットの固定を確実に行ってください。走行中に AV ケーブル等が外れる恐れがあります。

リモコンを操作する

- リモコン操作ができるのは、リモコン受光部から水平左右 30 度、直線距離約 3m 以内です。リモコンとリモコン受光部の間に障害物があると、操作できない場合があります。



ハンドル等の障害物がリモコン受光部とリモコンの間にあると、リモコン操作ができない場合があります。



⚠ 注意

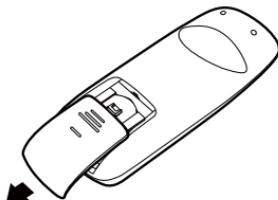
- 本製品はリモコン無しで操作（設定等）することはできません。
- 運転者は、走行中に本製品を絶対に操作しないでください。必ず同乗者が操作を行なってください。
- 直射日光が当たっている場所やリモコン受光部の取付け場所によっては、リモコン操作が効きにくくなる場合があります。

操作方法

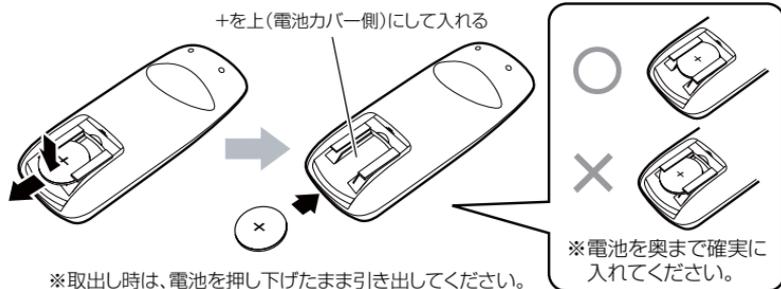
リモコン電池を交換する

リモコンの電池寿命はご使用状態によって変わりますが、1日10回のスイッチ操作で約1年です。リモコンが作動しない、又は操作が鈍くなったなどの場合は、リモコンの電池交換をしてください。

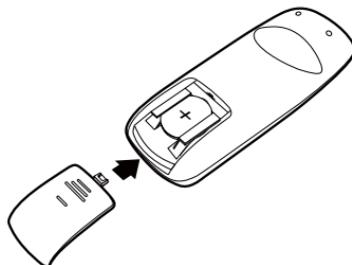
- 1) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて外す



- 2) 古い電池を押し下げて取り出し、新しい電池 (CR2025 × 1 個) を+ (プラス) 面を上にして入れる



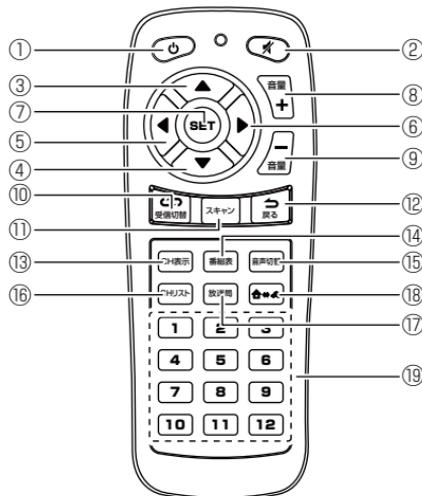
- 3) 電池カバーを矢印の方向へスライドさせて取付ける



⚠ 注意

- 電池の上下を間違えて入れると、故障する恐れがありますのでご注意ください。
- 本製品に同梱の電池は動作テスト用のため、電池寿命が短い場合があります。

リモコン操作一覧



番号	名称	短押し	長押し
①	電源	電源 ON/OFF (⇒ P26)	—
②	ミュート	消音	—
③	アップ	チャンネル選局 (⇒ P31)	—
④	ダウン	チャンネル選局 (⇒ P31)	—
⑤	レフト	チャンネルサーチ (⇒ P33)	—
⑥	ライト	チャンネルサーチ (⇒ P33)	—
⑦	SET	決定	設定メニュー (⇒ P27,37)
⑧	音量アップ	音量を上げる	—
⑨	音量ダウン	音量を下げる	—
⑩	受信切替	地デジ放送とワンセグ放送を切替える (⇒ P30)	—
⑪	スキャン	—	ドライブスキャン (⇒ P28)
⑫	戻る	操作のキャンセル	—
⑬	CH表示	チャンネル表示 (⇒ P34)	—
⑭	番組表	番組表の表示 (⇒ P34)	番組情報の表示 (⇒ P35)
⑮	音声切替	主 / 副音声の切替え (⇒ P35)	—
⑯	CH リスト	チャンネル一覧の表示 (⇒ P32)	—
⑰	放送局サーチ	放送局サーチを行う (⇒ P29)	—
⑱	ホーム / ドライブ	ホームモード / ドライブモードを切替える (⇒ P28)	—
⑲	数字キー	チャンネル選局 (⇒ P31)	—

操作方法

電源を入れる

- 1) キーを ON にし、エンジンを始動します。



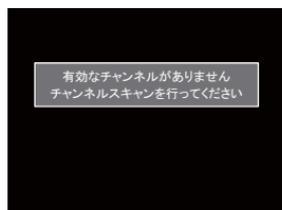
- 2) 車載のテレビまたはナビの画面を『ビデオ』(※) 表示に切替えます。

※メーカーによって表示は異なります。お使いのテレビまたはナビの取扱説明書を参照ください。
例) 「VIDEO」 「VTR」 「AV-IN」 など



- 3) リモコン受光部の電源ランプが赤点灯し、「有効なチャンネルがありません。チャンネルスキャンを行なってください。」と表示される事を確認します。

※チャンネルスキャン実施後は表示されません。



電源を切る

- 1) キーを OFF にするか、リモコンの【電源】ボタンを押します。

アドバイス

本製品は電源を切った時の設定を保持します。
(選局していたチャンネルや音量等)
またリモコンで電源を OFF にした場合は再度
リモコン操作で電源を ON にしてください。

- 2) リモコン受光部の電源ランプが消灯します。



チャンネルを設定する

本製品は受信チャンネルをホームモードとドライブモードの2種類設定することができます。

※ 旅行等で他県へ移動した場合、受信できるチャンネルが変わるため、『ドライブスキャン』（⇒P28）を行なってください。

- ・【ホームモード】.....自宅周辺でテレビを見る場合
- ・【ドライブモード】.....旅行先等でテレビを見る場合

👉 アドバイス

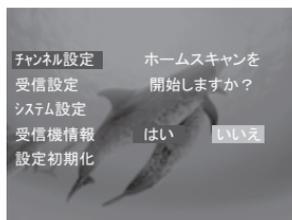
走行中や、受信感度の悪い場所でチャンネルスキャンを行った場合、受信エリア内でも受信できないチャンネルがある場合があります。その際は場所を変えて、停車した状態でスキャンを行なってください。

ホームモードのチャンネルを設定する（ホームスキャン）

- 1) リモコンの【SET】を**長押し**し、設定メニューを表示します。



- 2) 【チャンネル設定】を【SET】で選択し、『ホームスキャンを開始しますか?』と表示が出たら【◀】で【はい】を選択し、【SET】を押して決定します。



- 3) 検索が開始され、「スキャン中」の表示がされます。検索が終わると、受信したチャンネルを登録し、受信チャンネルの一覧を表示します。

※ホームスキャン中にリモコンの【戻る】を押すことで、ホームスキャンを中止する事ができます。



操作方法

ドライブモードのチャンネルを設定する（ドライブスキャン）

1) リモコンの【スキャン】を**長押し**します。



2) 検索が開始され、「スキャン中」の表示がされます。検索が終わると、受信したチャンネルを登録し、受信チャンネルの一覧を表示します。

※ドライブスキャン中にリモコンの【戻る】を押すことで、ドライブスキャンを中止することができます。



ホームモードとドライブモードを切替える

1) リモコンの【ホーム/ドライブ】を押します。



2) 【ホーム/ドライブ】を押すごとに「ホームモード」と「ドライブモード」が切替わります。

👉 アドバイス

ホームモード設定中にドライブスキャンを行うと、検索終了後ドライブモードに切替わります。

ホームモード表示



ドライブモード表示



放送局サーチ

番組視聴中に放送局が受信できなくなった時、自動で受信状態の良い中継局または系列局を探し、切替える機能です。【初期設定：自動サーチ ON】
また手動で放送局サーチを行うこともできます。

- 1) 【放送局サーチ】を押します。
「放送局サーチ中」の文字が点滅します。



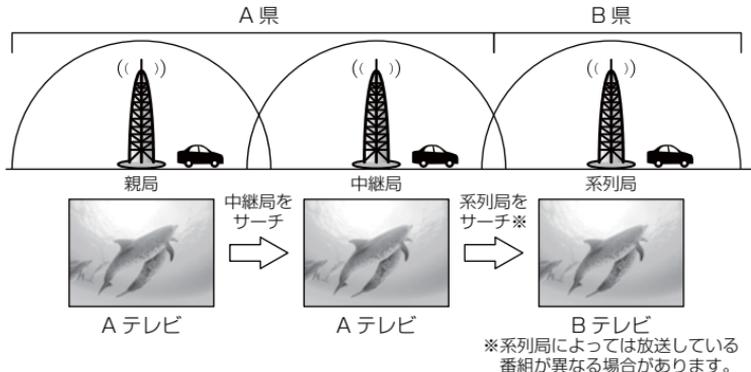
- 2) 受信状態の良い中継局または系列局が見つかった場合、その中継局または系列局に切替わります。見つからなかった場合は元のチャンネルに戻ります

※放送局サーチ中にリモコンの【戻る】を押すことで、放送局サーチを中止することができます。

アドバイス

放送局サーチ

- ・親局の受信エリアを外れても受信状態の良い中継局や系列局へ切替えを行い、視聴中の番組を継続して見ることができます。(サーチ中は黒画面になります)
- ・切替わるのは視聴中のチャンネルのみです。また他県へ移動しチャンネルが系列局に切替わった場合、切替わったチャンネル以外を視聴するには『ドライブスキャン』(⇒ P28)を行なってください。
- ・トンネルや山間部などで使用すると頻繁に動作する場合があります。この場合、テレビが映らない時間が長くなるため「OFF」に設定することをお奨めします。



操作方法

地上デジタル放送とワンセグ放送を切替える

本製品は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を自動的に切替える機能を採用しています。

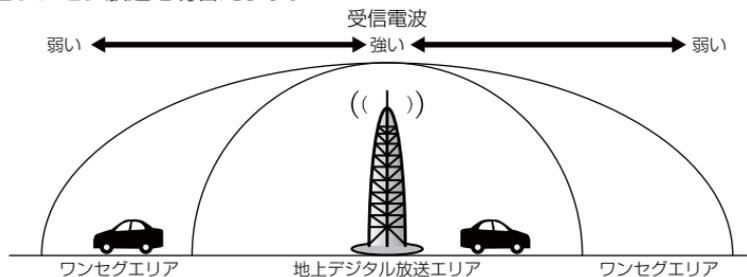
また、設定メニュー内の【受信設定】(⇒P38)にて設定を【手動】にすることで、リモコン操作により、地上デジタル放送とワンセグ放送のどちらかに受信を固定することもできます。

- 1) 【↔ 受信切替】を押すたびに「地上デジタル放送」と「ワンセグ放送」を切替えます。



アドバイス

- ・地上デジタル放送とワンセグ放送の切替え時に一瞬映像と音声途切れる事があります。
- ・放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグ放送で放送している番組が異なる場合があります。
- ・【12セグ優先】【ワンセグ優先】設定時に【↔ 受信切替】を押すと、一時的に放送は切替わりますが、しばらくすると受信感度に応じて自動で放送を切替えます。
- ・【12セグ優先】【ワンセグ優先】設定時は受信電波の強弱によって地上デジタル放送とワンセグ放送を切替えます。



チャンネルを選択する

チャンネル選択方法①

- 【▲アップ】または【▼ダウン】を押して選択する場合

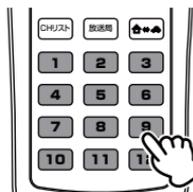
- 1) チャンネルスキャン終了後、本体に登録されたチャンネルを順に選択することができます。



チャンネル選択方法②

- 【数字キー（1～12）】を押して直接選局する場合

- 1) 【数字キー（1～12）】を押すと、指定チャンネルに切替えることができます。



アドバイス

地上デジタル放送では同じチャンネル番号で複数の番組を放送していることがあります(マルチチャンネル)。その場合、数字キーを繰り返すことによって選択することができます。

操作方法

チャンネル選択方法③

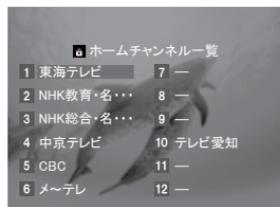
- チャンネルリストから受信局を選択する場合

- 1) 【CH リスト】 を押すとチャンネルスキャン (⇒ P27,28) で検索し、登録されたチャンネルの一覧が表示されます。



- 2) 【▲アップ】、【▼ダウン】、【◀左】、【▶右】でチャンネルを選び、【SET】を押すと選局したチャンネルが表示されます。

※ 表示を終了するときには、再度【CH リスト】を押すか、【戻る】を押してください。



チャンネルサーチ

- 1) 番組を視聴中に【◀レフト】または【▶ライト】を押すと、現在地で受信できるチャンネルの検索が開始され、「サーチ中です」の表示がされます。

※チャンネルリスト表示中や設定メニュー表示中ではチャンネルサーチはできません。



- 2) 受信できるチャンネルがあれば、その番組が表示されます。



- 3) 再度【◀レフト】または【▶ライト】を押すと、別のチャンネルの検索が開始されます。



👉 アドバイス

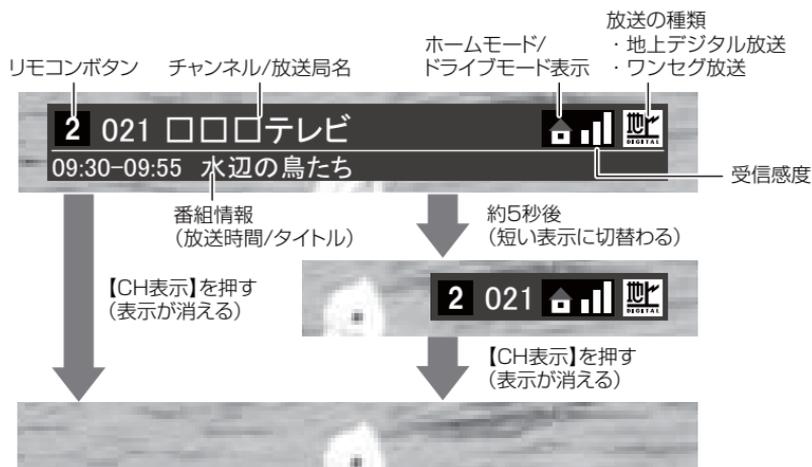
チャンネルサーチで受信したチャンネルは本体に登録されません。そのため、一度登録したチャンネルを消さずに受信できるチャンネルを検索することができます。旅行先等、一時的に受信できるチャンネルを探したい場合におすすめします。

操作方法

チャンネル情報を表示する

チャンネル表示

- 1) 【CH表示】を押すと下記のような情報が表示されます。また【CH表示】を押すごとに下記の順に表示が切替わります。



番組表を見る

- 1) 番組の視聴中に、【番組表】を押すと視聴している放送局の番組表が表示されます。

※ 表示を終了するときは、再度【番組表】を押すか、【戻る】を押してください。

2 021 NHK教育・名古屋	05月08日
番組表	
20:30-20:45	きょうの健康「コレステロ...
20:45-21:00	囲 NHK手話ニュース845
21:00-21:25	囲 趣味の園芸 ▼育て...
21:25-21:50	囲 趣味の園芸 やさい...
21:50-22:00	視点・論点「砂漠化進...
22:00-22:25	囲 美の壺「ワイングラス」

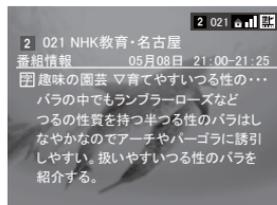
アドバイス

複数ページある場合、【◀レフト】【▶ライト】で次ページに切替えることができます。

番組情報を見る

- 1) 番組表で【▲アップ】または【▼ダウン】で番組を選び、【SET】を押すと番組詳細情報（EPG 情報）が表示されます。また番組の視聴中に、【番組表】を**長押し**すると、現在視聴中の番組の詳細情報が表示されます。

※表示を終了するときは、【番組表】を**長押し**してください。



音声多重放送の選択方法

2ヶ国語放送等の音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切替えて聴くことができます。

- 1) リモコンの【音声切替】を押すごとに【主音声】→【副音声】→【主／副音声】を繰り返します。

👉 アドバイス

【設定メニュー】⇒【システム設定】⇒【音声設定】から音声を選択することもできます。
(⇒P40)



⚠️ 注意

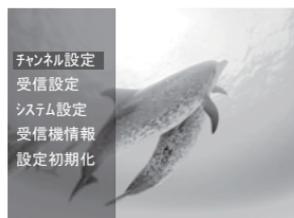
- 音声多重放送ではない番組であっても音声設定の表示は切替わりますが、音声は主音声のままです。
- ステレオ放送の場合、音声の切替えに関係なくステレオで出力します。そのため副音声は出力されません。

設定

設定操作

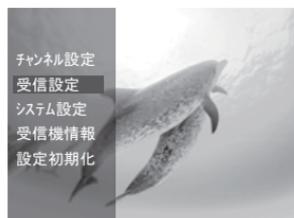
- 1) リモコンの【SET】を**長押し**すると、設定メニューが表示されます。

※スキャン中、チャンネルサーチ中、放送局サーチ中は設定メニューの表示はされません。



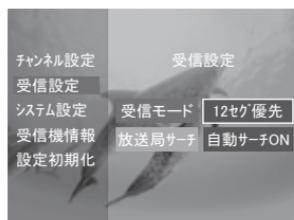
- 2) 【▲アップ】または【▼ダウン】で設定項目を選択し、【SET】を押します。

例) 『受信設定』を選択



- 3) 【▲アップ】または【▼ダウン】で機能項目を選択し、【SET】を押します。

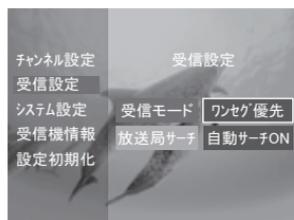
例) 『受信モード』を選択



- 4) 【▲アップ】・【▼ダウン】で設定内容を選択し、【SET】を押して決定します。

※設定項目によっては【◀レフト】・【▶ライト】で選択します。

例) 『ワンセグ優先』を選択



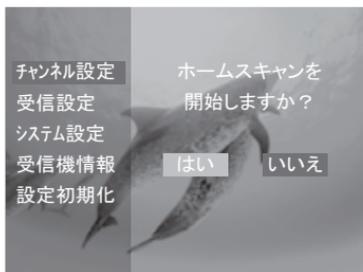
- 5) 設定を終了する場合は【戻る】を2回押すか、約10秒後に終了します。

チャンネル設定

ホームモード（⇒ P27）のチャンネルを検索して、本体に登録することができます。

- 1) 設定メニューの【チャンネル設定】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 【はい】を選択し、【SET】を押して決定するとホームスキャンが開始され、ホームモードのチャンネルの検索（⇒ P27）が開始されます。

※ホームスキャン中に【戻る】を押すことで、ホームスキャンを中止することができます。

アドバイス

旅行先等で使用する時はドライブモードのチャンネル設定（【スキャン】ボタンを**長押し**）を行う事をおすすめします。（⇒ P28）

設定

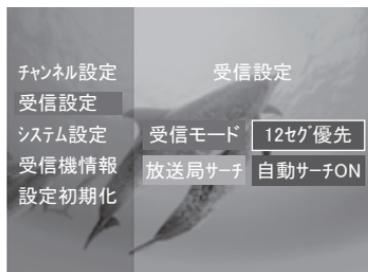
受信設定

受信モードの設定

「地上デジタル放送」、「ワンセグ放送」の切替えを、【12セグ優先】【ワンセグ優先】【手動】から選択することができます。【初期設定：12セグ優先】

- 1) 設定メニューの【チャンネル設定】を選択し、【受信モード】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 【12セグ優先】【ワンセグ優先】【手動】から選択し、【SET】を押します。
 - ・【12セグ優先】..... 地上デジタル放送での受信を優先します。電波の受信感度に応じて、「12セグ」と「ワンセグ」を自動で切替えます。
 - ・【ワンセグ優先】..... ワンセグでの受信を優先します。電波の受信感度に応じて、「12セグ」と「ワンセグ」を自動で切替えます。
 - ・【手動】..... リモコンの【↶ 受信切替】を押すごとに、「12セグ」と「ワンセグ」を切替えます。

👉 アドバイス

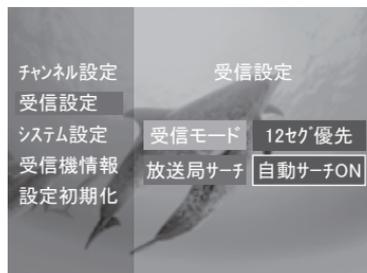
- ・【手動】に設定して、地上デジタル放送に固定している場合、受信感が悪くなくてもワンセグ放送には切替わらず、映像・音声は出力されません。
- ・【12セグ優先】【ワンセグ優先】に設定した場合でも、リモコン操作で地上デジタル放送とワンセグ放送を切替える事ができます。(⇒ P30)

放送局サーチの設定

視聴中にチャンネルが受信できなくなった時に、放送局サーチ（⇒ P29）を自動で行うかを設定できます。

- 1) 設定メニューの【チャンネル設定】を選択し、【放送局サーチ】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 【自動サーチ ON】【自動サーチ OFF】から選択し、【SET】を押します。

設定

システム設定

音声設定

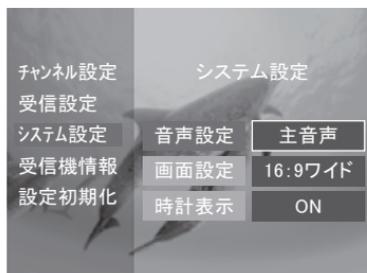
音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切替えて聴くことができます。【初期設定：主音声】

- 1) 設定メニューの【システム設定】を選択し、【音声設定】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。

アドバイス

リモコンの【音声切替】を押しても切替えることができます。(⇒ P35)



- 2) 【主音声】、【副音声】、【主 / 副音声】 から選択し、【SET】を押します。

注意

- 音声多重放送ではない番組であっても音声設定の表示は切替わりませんが、音声は主音声のままです。
- ステレオ放送の場合、音声設定の切替えに関係なくステレオで出力します。そのため副音声は出力されません。

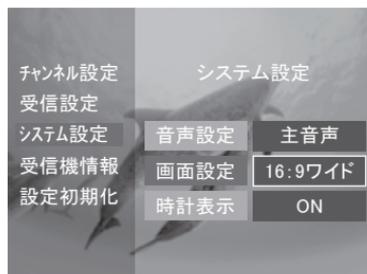
画面設定

接続したテレビに合わせて画面サイズを切替えます。

【初期設定：16:9 ワイド】

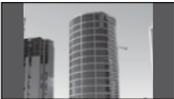
- 1) 設定メニューの【システム設定】を選択し、【画面設定】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 下記アドバイスを参考に設定を行い、【SET】を押します。

アドバイス

入力映像	16:9 ワイド	4:3 パンスキャン	4:3 レターボックス
 16:9の映像	 画面いっぱいに表示される	 左右がカットされる	 上下に帯が入る
 左右に帯のある 16:9の映像	 画面いっぱいに表示される	 左右の帯がカットされる	 上下左右に帯が入る

※ ご使用のモニターの画面設定によって異なる場合があります。ご使用のモニターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

設定

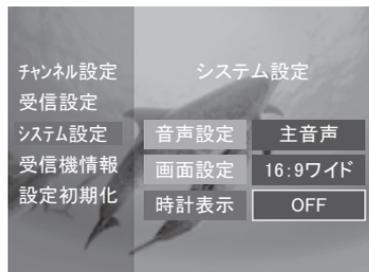
時計表示

テレビ画面に時計を表示することができます。

【初期設定：OFF】

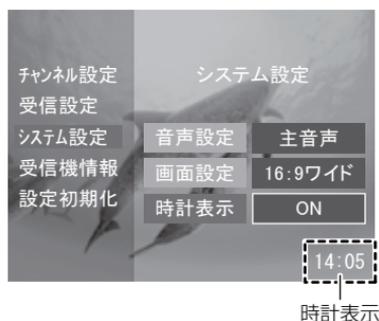
- 1) 設定メニューの【システム設定】を選択し、【時計表示】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 【ON】、【OFF】を選択し、【SET】を押します。

※時計表示 ON の場合、画面右下に時計表示します。

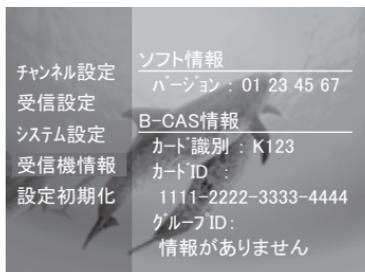


受信機情報

本製品のソフトウェア情報と miniB-CAS カードの情報を確認することができます。

- 1) 設定メニューの【受信機情報】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



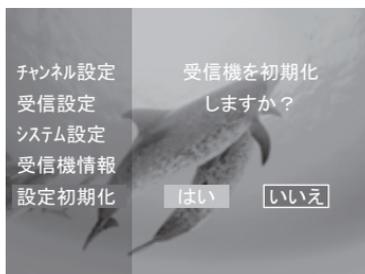
- 2) ソフトウェア情報と miniB-CAS カードの情報が表示されます。

設定初期化

本製品の設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。

- 1) 設定メニューの【設定初期化】を選択します。

※詳しい設定操作は P36 を参照ください。



- 2) 【はい】を選択し、【SET】を押して決定すると設定が初期化され、工場出荷時の状態に戻ります。

👉 アドバイス

- ・設定初期化を行いますと、製品の工場出荷時の状態となります。
- ・設定初期化の後に放送受信したい場合は、チャンネルスキャンを行なってください。(⇒ P27,28)

緊急警報放送 (EWS) について

大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に緊急警報放送 (EWS) を放送局から発信し、視聴者にいち早くお知らせする放送システムです。

緊急警報放送 (EWS) 受信時の動作

- ・緊急警報放送が開始されると、チャンネル情報の受信感度表示部が【緊急】の文字に切替わります。現在視聴中のチャンネルの【数字キー (1 ~ 12)】を押すことで緊急警報放送に切替えてください。
- ・緊急警報放送が終了しても、自動的に元のチャンネルには戻りません。リモコン操作でチャンネルを切替えてください。

注意

本製品にチャンネルを登録していないと緊急警報放送は受信できません。

故障かな？と思ったら

製品に異常があった場合、下記内容をご確認ください。

症 状	ここをチェックしてください。	参照ページ
電源が入らない	●電源コードが車両配線にしっかり接続されていますか？	18 ページ
	●電源コード内のヒューズが切れていませんか？	18 ページ
映像が出ない	●リモコンの電源スイッチで電源が ON になっていますか？ ●AV ケーブル (付属品) とメインユニットの接続は正しいですか？ ●映像 (黄) 音声 (白、赤) に接続されていますか？ ●テレビ側は RCA 入力端子に接続されていますか？ ●テレビ (モニター) が「ビデオ入力※」に切り替わっていますか？ ※テレビによっては VTR、VIDEO 等、呼び方は異なります。	20,26 ページ
ワンセグしか映らない	●miniB-CAS カードのロックはしていますか？	10 ページ
映像にブロックノイズが出る 映像が静止画になる	●デジタル放送の電波が届きにくい場所、または他の電波の干渉が原因と思われます。 場所を移動することにより電波状態が変化します。	5 ページ
	●配線を束ねて取付けを行なっていませんか？	16 ページ
砂嵐のようなノイズが出る	●取付けた場所によってメインユニットにノイズが影響している可能性が考えられます。その場合はメインユニットの取付け位置を変更してください。	22 ページ
リモコンで操作ができない	●リモコン受光部を直射日光の当たる場所に取付けていませんか？ ●リモコン受光部とメインユニットは確実に接続されていますか？	17,21 ページ
	●リモコン操作範囲内ですか？ ●受光部とリモコンの間に障害になるものはありますか？ ●リモコンの電池は消耗していませんか？ ●電池は正しく装着されていますか？	23,24 ページ
音声を切替えても音声が変わらない	●放送番組は音声多重放送ですか？	35,40 ページ
チャンネル設定ができない	●設定を行う場所によっては全く受信できない場所があります。 その場合は場所を移動して再度、設定を行なってください。	27 ページ
	●使用する地域によってはデジタル放送 (ワンセグ放送) が視聴できない地域や放送電波の出力を調整している地域もあります。 その場合は受信できる地域で使用しているか確認してください。	—
「受信できません」と表示がでる	●設定で受信メモリーされていて場所の移動や電波状態により放送局によっては受信できない場合があります。	—
車のバッテリーがあがる	●付属電源コードの接続先を確認してください。	18 ページ

付録

製品仕様

●メインユニット

受信チャンネル	UHF13ch～62ch
放送方式	地上デジタル放送（12セグ/ワンセグ）
電源電圧	DC12V
消費電力	7W
消費電流（待機時）	10mA以下
映像出力レベル	1.0Vp-p/75Ω
音声出力（最大）レベル	0.5Vrms
使用温度範囲	-5℃～50℃
外形寸法	164（W）×113（H）×22（D）／mm（突起部含まず）
重量	410g
入出力端子	アンテナ入力端子×4、AV出力端子×1（RCA出力）

●フィルムアンテナ（左右共通）

外形寸法（エレメント部）	107（W）×88（H）／mm
〃（アンプ部）	9.8（W）×40（H）×5.5（D）／mm
受信周波数範囲	470～770MHz
出力インピーダンス	50Ω
消費電流	最大50mA
重量	37g（ケーブル含む）
配線長	約5m
アンテナコードコネクタ形状	GT13S

●リモコン受光部

電源電圧	DC3V
外形寸法	19（W）×27（H）×13.2（D）／mm
重量	45g（ケーブル含む）
配線長	約3m

●リモコン

外形寸法	43（W）×110（H）×20（D）／mm
重量	41g（電池含む）
使用電池	リチウム電池 CR2025（1個）